

## 科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会において「科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について（報告）」をとりまとめ

科学技術・学術審議会学術分科会研究費部会では、これまでも我が国の学術研究の振興のために望ましい研究費の在り方について議論が行われ、研究者にとって効果的に使える科研費を目指した各種制度改善が進められてきました。

平成21年3月に審議を開始した第5期の研究費部会（部会長：有川節夫九州大学総長）では、昨年7月16日にとりまとめられた「これまでの審議のまとめ」において「引き続き検討すべき」とされた、「科研費における今後の若手研究者支援の在り方」や「今後の「基盤研究」の在り方」等を中心に議論が行われ、平成22年7月27日に「科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について（報告）」としてとりまとめられています。

今後、本とりまとめに基づいて、科研費の制度改善等を実施していく予定です。

掲載ホームページアドレス [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1296782.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1296782.htm)

## 科学研究費補助金の平成23年度概算要求について

平成23年度概算要求においては、「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）を踏まえ、我が国の成長の原動力である「強い人材」の実現や、持続的な成長の源泉たる「基礎研究」の振興を図るため、対前年度100億円増の2,100億円を計上しています。

具体的な要求内容は、以下のとおりです。

### 1. 「元気な日本復活特別枠」要望について

（要望項目：成長を牽引する若手研究人材の総合育成・支援イニシアティブ）

「科学研究費補助金（若手の「チャレンジ」支援）」として、研究費を拡充するとともに、抜本的な制度改革を実施し、最も効果的・効率的な研究費制度を実現するため、次のような要求をしています。

#### (1) 研究費の拡充

##### ① 若手研究者向けの「若手研究（A・B）」を拡充。

特に、若手研究者支援の主要な研究費である「若手研究（B）」について、総合科学技術会議が示している採択率30%の実現を図ります。

##### ② ハイリスク研究を支援する「挑戦的萌芽研究」を拡充し、将来のイノベーションにつながるようなハイリスク研究の機会の拡大（約2倍）を目指します。

#### (2) 抜本的な制度改革

##### ① 「基金化」により、税金のムダのない効率的な研究費制度として抜本的な制度改革を図ります。

- ・研究者が年度にしばられることなく使い易くなります。
- ・年度末の使い切りは必要なくなり、ムダのない効率的な使用が可能になります。
- ・安定的な制度運用により若手研究者の研究をしっかり支えます。

##### ② 研究により得られた最新の研究成果を迅速にインターネットで発信し、他の競争的資金とのスムーズな連携や企業等によるイノベーションの種の発掘など研究成果が最大限活かされるような仕組みの構築を目指します。

### 2. このほか、「基盤研究（C）」を拡充し、人文・社会科学系を含む研究活動の裾野の拡大を図るとともに、「新学術領域研究（研究領域提案型）」を拡充し、新たな研究領域の開拓を目指します。

また、事業仕分け第2弾の評価結果を踏まえ、日本学術振興会で公募・審査を行い、文部科学省で交付を行っている「特別推進研究」及び「若手研究（A・B）」について、日本学術振興会への移管を進める予定です。

## 4. 科研費トピックス

### 平成23年度科学研究費補助金を公募

平成23年度の科学研究費補助金について、下記の研究種目について募集を開始しました。

#### 〔文部科学省取扱い分〕

新学術領域研究、特定領域研究、特別研究促進費、研究成果公開促進費（研究成果公開発表）

#### 〔日本学術振興会取扱い分〕

特別推進研究、基盤研究、挑戦的萌芽研究、若手研究（A・B）、研究成果公開促進費（学術定期刊行物、学術図書、データベース）

公募内容、応募手続きについては、それぞれの公募要領をご覧ください。

#### 【公募要領等説明会の実施】

平成22年9月13日（月）から17日（金）にかけて、各研究機関の事務担当者や研究者を対象として、平成23年度科研費公募要領等説明会を開催しました。

この説明会は全国7ブロック（8会場）で開催し、公募要領等の変更点の他、応募書類の作成・提出、科研費をめぐる最近の状況、不正使用の防止等について説明を行い、約1350機関から約3000名の参加者がありました。

また、この説明会に先立ち、午前中には実務担当者を対象として、科研費制度の概要や研究機関における科研費の管理等についての説明会を行い、約1300機関から約2750名の参加がありました。

（説明会資料等については、文部科学省及び日本学術振興会の科学研究費補助金ホームページでご覧いただけます。）

#### 文部科学省科学研究費補助金ホームページ

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/main5\\_a5.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm)

#### 日本学術振興会科学研究費補助金ホームページ

<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>

### 平成22年度科学研究費補助金の審査に係る検証等について

#### 【平成22年度科学研究費補助金「新学術領域研究」「特定領域研究」に係る審査概況とその検証結果について】

科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において、平成22年度科学研究費補助金の「新学術領域研究」「特定領域研究」の審査に係る審査概況とその検証結果がとりまとめられ、審査体制や審査手順に対する検証の結果について、ホームページで公表しています。

掲載ホームページアドレス [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/1284412.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1284412.htm)

#### 【平成22年度科学研究費補助金の審査に係る総括について】

日本学術振興会科学研究費委員会において、平成22年度科学研究費補助金の審査に係る総括がとりまとめられ、審査作業の特徴、主な制度改善、研究種目別の応募・採択状況などについて、ホームページで公表しています。

掲載ホームページアドレス [http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/03\\_shinsa/index.html#shinsa](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/03_shinsa/index.html#shinsa)

平成22年度科学研究費補助金の配分結果を公表（平成22年7月27日）

平成22年度科学研究費補助金について、4月1日に交付内定を行った研究種目の配分結果（5月25日公表）に、その後交付内定を通知した「特別推進研究」（新規分）、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（新規領域分）、「基盤研究(S)」（新規分）及び「特別研究員奨励費」の配分結果を加えてとりまとめ、7月27日に公表しました。

区 分	研究課題数			配分額 (百万円)	1課題あたりの配分額	
	応募件数	採択件数	採択率		平均(千円)	最高(千円)
新規採択+継続分	133,952件	63,604件	47.5%	152,708	2,401	274,700
新規採択のみ	93,161件	22,918件	24.6%	62,148	2,712	163,000

※研究成果公開促進費、特別研究員奨励費及び学術創成研究費を含む。  
 ※新学術領域研究（研究領域提案型）「生命科学系3分野支援活動」、研究活動スタート支援（新規）及び特定奨励費は除く。

研究種目別、研究機関別等の詳細なデータにつきましては、下記のホームページをご覧ください。

掲載ホームページアドレス [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/1296239.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1296239.htm)